

上野支部本部激励行動

その2

現場で奮闘してきた仲間の声



- ・ジョブローテーションにて駅へ異動、体力・精神ともにギリギリの状態なのに会社は「もっと頑張れ」と言う。「ふざけるな!!」と会社にぶつけてほしい。また、駅に異動し収入が4万5千円減った。やる気も出ないし、家族にも申し訳ない。しかし業務量は増している。
- ・組織再編で、技術系の職場は業務の量や質が今までと比べものにならないくらい増大している。命を失うような事象も起きている。会社は「更なる充実」というが、今が充実してから使う言葉だ!
- ・業務増、賃金は抑えられている。職場では4人もの人が会社を辞めた。こんなこと今までなかった。危機的状況。
- ・インバウンド需要がものすごく増えている。改札の一部無人化・遠隔により、業務にゆとりが出ると思ったが海外からのお客さま対応で四苦八苦している。

現場で働く仲間の奮闘があり好調な業績を生み出している。これは紛れもない事実である。労使議論の内容を歪曲せず、

3.4ヶ月分+10万円の満額回答を行うべきだ!

職場から、すべての仲間とともに満額回答を勝ち取ろう!